

川崎市建築物環境配慮制度受付番号 24036

建築物名称	(仮称)高津区溝口1丁目計画
建築主	牛尾 秀樹
建築物の所在地	川崎市高津区溝口1丁目583番の一部、583番2の一部、583番5の一部、584番、652番1、652番5、652番9の一部、652番10の一部、無地番地
設計者氏名、建築士事務所名	荻内 伸彦 大和ハウス工業株式会社 南関東流通 一級建築士事務所
工事種別	新築
床面積の合計	3,665.67㎡
用途	老人ホーム
構造	鉄骨造
階数	地上5階
工事完了予定年月	令和8年1月
自然エネルギーの利用 (利用を検討した自然エネルギーの種類)	太陽光発電、太陽熱利用
自然エネルギーの利用 (利用を決めた自然エネルギーの種類)	なし

重点項目についての環境配慮概要		実績重点項目スコア 合計/ 重点項目最高点のスコア合計	重点項目への 貢献点注) (5点満点)
内訳対応項目	各項目について配慮した内容を記述してください。		
緑の保全・回復(G)		Gの平均点	2.3
Q-3 ■ 室外環境(敷地内)対策			
1 生物環境の保全と創出			
2 まちなみ・景観への配慮		2.1/4.3	2.5
3 3.2 敷地内温熱環境の向上			
LR-3 ■ 敷地外環境対策			
2 2.2 温熱環境悪化の改善		0.3/0.8	2.0
地球温暖化防止対策の推進(W)		Wの平均点	2.8
Q-1 ■ 室内環境対策			
2 2.1 2.1.2 外皮性能			
3 3.1 3.1.3 昼光利用設備		1.2/1.8	3.4
3.2 3.2.1 昼光制御	住:ブラインド+庇の設置		
Q-3 ■ 室外環境(敷地内)対策			
1 生物環境の保全と創出			
3 3.2 敷地内温熱環境の向上		0.9/2.3	2.0
LR-1 ■ エネルギー対策			
1 建物外皮の熱負荷抑制	BPI=0.74		
2 自然エネルギーの利用		3.6/5.0	3.6
3 設備システムの高効率化	BEI=0.78		
4 効率的運用			
LR-2 ■ 資源・マテリアル対策			
1 水資源保護	自動水栓に加え、節水型便器を採用		
2 非再生性資源の使用量削減	LGS+GB-RIにより躯体と仕上げ材料が容易に分別可能	2.9/4.7	3.1
3 3.2 フロン・ハロンの回避			
LR-3 ■ 敷地外環境対策			
2 2.2 温熱環境悪化の改善	LCCO2 82%	0.3/0.8	2.0
資源の有効利用による循環型地域社会の形成(R)		Rの平均点	3.3
Q-2 ■ サービス性能対策			
2 2.2 部品・部材の耐用年数	床:塩ビシート20年、壁:ビニルクロス20年 天井:ビニルクロス30年	0.3/0.5	3.4
LR-2 ■ 資源・マテリアル対策			
1 水資源保護		2.5/4.0	3.1
2 非再生性資源の使用量削減	LGS+GB-RIにより躯体と仕上げ材料が容易に分別可能		
LR-3 ■ 敷地外環境対策			
2 2.3 地域インフラへの負荷抑制	駐輪場・駐車場の適切な配置	0.2/0.4	2.8
ヒートアイランド現象の緩和(H)		Hの平均点	2.5
Q-3 ■ 室外環境(敷地内)対策			
1 生物環境の保全と創出			
3 3.2 敷地内温熱環境の向上		0.9/2.3	2.0
LR-1 ■ エネルギー対策			
1 建物外皮の熱負荷抑制	省エネ計算 BPI=0.74 BEI=0.78		
2 自然エネルギーの利用		3.6/5.0	3.6
3 設備システムの高効率化	BEI=0.78		
4 効率的運用			
LR-3 ■ 敷地外環境対策			
2 2.2 温熱環境悪化の改善		0.3/0.8	2.0

注)重点項目に該当する評価項目の得点(重み係数付)を集計し、当該項目の最高点の合計に対する貢献度を示した点数。

重点項目への貢献点の平均点 **2.7**

ライフサイクルCO2評価対象項目についての環境配慮概要		実績スコア合計/ 最高点のスコア合計	ライフサイクル CO2評価対象 項目への 貢献点注) (5点満点)
内訳対応項目	各項目について配慮した内容を記述してください。		
建設段階			
Q-2 ■ サービス性能対策			
2 2.2 2.2.1 躯体材料の耐用年数		0.1/0.1	3.0
修繕・更新・解体段階			
LR-2 ■ 資源・マテリアル対策			
2 2.2 既存建築躯体等の継続利用		0.7/1.2	3.0
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			
運用時のエネルギー			
LR-1 ■ エネルギー対策			
1 建物外皮の熱負荷抑制	省エネ計算 BPI=0.74 BEI=0.78		
2 自然エネルギーの利用		3.6/5.0	3.6
3 設備システムの高効率化	BEI=0.78		
4 効率的運用			

注)ライフサイクルCO2評価対象項目に該当する評価項目の得点(重み係数付)を集計し、当該項目の最高点の合計に対する貢献度を示した点数。

スコアシート		実施設計段階				重点項目					環境配慮設計の概要記入欄		評価点		重み係数		全体									
配慮項目	重点項目	G	W	R	H							評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体										
																評価点	重み係数									
Q 建築物の環境品質																	2.8									
Q1 室内環境																	3.2									
1 音環境																	3.0									
1.1 室内騒音レベル																	3.0		0.40		3.0		0.40			
1.2 遮音																	3.0		0.40		3.0		0.40			
1 開口部遮音性能																	3.0		1.00		3.0		0.30			
2 界壁遮音性能																	-		-		3.0		0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)																	3.0		-		3.0		0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)																	-		-		3.0		0.20			
1.3 吸音																	3.0		0.20		3.0		0.20			
2 温熱環境																	3.0		0.35		3.0		1.00		3.0	
2.1 室温制御																	3.0		0.50		3.0		0.50			
1 室温																	3.0		0.38		3.0		0.57			
2 外皮性能																	3.0		0.25		3.0		0.43		W	
3 ゾーン別制御性																	3.0		0.38		-		-			
2.2 湿度制御																	3.0		0.20		3.0		0.20			
2.3 空調方式																	3.0		0.30		3.0		0.30			
3 光・視環境																	2.6		0.25		3.6		1.00		3.0	
3.1 昼光利用																	1.8		0.30		4.2		0.30			
1 昼光率																	1.0		0.60		5.0		0.60		住: 2.0%以上	
2 方位別開口																	-		-		-		-			
3 昼光利用設備																	3.0		0.40		3.0		0.40		W	
3.2 グレア対策																	3.0		0.30		4.0		0.30			
1 昼光制御																	3.0		1.00		4.0		1.00		住: ブラインド+庇の設置	
3.3 照度																	3.0		0.15		3.0		0.15			
3.4 照明制御																	3.0		0.25		3.0		0.25			
4 空気質環境																	3.9		0.25		3.7		1.00		3.8	
4.1 発生源対策																	4.0		0.50		4.0		0.63			
1 化学汚染物質																	4.0		1.00		4.0		1.00		内装材はほぼ全面的にF☆☆☆☆を使用	
4.2 換気																	3.0		0.30		3.3		0.38			
1 換気量																	3.0		0.50		3.0		0.33			
2 自然換気性能																	-		-		4.0		0.33		自然換気に有効な開口を設けている	
3 取り入れ外気への配慮																	3.0		0.50		3.0		0.33			
4.3 運用管理																	5.0		0.20		-		-			
1 CO ₂ の監視																	-		-		-		-			
2 喫煙の制御																	5.0		1.00		-		-		全館禁煙	
Q2 サービス性能																	-		0.30		-		-		2.7	
1 機能性																	2.2		0.40		3.8		1.00		2.9	
1.1 機能性・使いやすさ																	3.0		0.40		5.0		0.60			
1 広さ・収納性																	-		-		5.0		1.00		個室10㎡/床以上	
2 高度情報通信設備対応																	-		-		-		-			
3 バリアフリー計画																	3.0		1.00		-		-			
1.2 心理性・快適性																	1.0		0.30		2.0		0.40			
1 広さ感・景観																	-		-		3.0		0.50			
2 リフレッシュスペース																	-		-		-		-			
3 内装計画																	1.0		1.00		1.0		0.50			
1.3 維持管理																	2.5		0.30		-		-			
1 維持管理に配慮した設計																	3.0		0.50		-		-			
2 維持管理用機能の確保																	2.0		0.50		-		-			
2 耐用性・信頼性																	3.0		0.30		-		-		3.0	
2.1 耐震・免震・制震・制振																	3.0		0.50		-		-			
1 耐震性(建物のこわれにくさ)																	3.0		0.80		-		-			
2 免震・制震・制振性能																	3.0		0.20		-		-			
2.2 部品・部材の耐用年数																	3.4		0.30		-		-			
1 躯体材料の耐用年数																	3.0		0.20		-		-		R	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔																	2.0		0.20		-		-		R	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔																	5.0		0.10		-		-		床: 塩ビシート20年、壁: ビニルクロス20年 天井: ビニルクロス30年	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔																	3.0		0.10		-		-		R	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔																	5.0		0.20		-		-		主要用途上位3種の2種以上にB以上を使用、E不使用	
6 主要設備機器の更新必要間隔																	3.0		0.20		-		-		R	
2.4 信頼性																	2.4		0.20		-		-			
1 空調・換気設備																	3.0		0.20		-		-			
2 給排水・衛生設備																	3.0		0.20		-		-			
3 電気設備																	3.0		0.20		-		-			
4 機械・配管支持方法																	1.0		0.20		-		-			
5 通信・情報設備																	2.0		0.20		-		-			

3	対応性・更新性								2.5	0.30	2.2	1.00	2.4
	3.1 空間のゆとり								1.0	0.30	1.4	0.50	
	1 階高のゆとり								1.0	0.60	1.0	0.60	
	2 空間の形状・自由さ								1.0	0.40	2.0	0.40	
	3.2 荷重のゆとり								3.0	0.30	3.0	0.50	
	3.3 設備の更新性								3.4	0.40	-	-	
	1 空調配管の更新性								3.0	0.20	-	-	
	2 給排水管の更新性								3.0	0.20	-	-	
	3 電気配線の更新性								5.0	0.10	-	-	
	4 通信配線の更新性								5.0	0.10	-	-	
	5 設備機器の更新性								3.0	0.20	-	-	
	6 バックアップスペースの確保								3.0	0.20	-	-	
	Q3 室外環境(敷地内)								-	0.30	-	-	2.5
1	生物環境の保全と創出	G	W		H				2.0	0.30	-	-	2.0
2	まちなみ・景観への配慮	G							3.0	0.40	-	-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮								2.5	0.30	-	-	2.5
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上								3.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上	G	W		H				2.0	0.50	-	-	
	LR 建築物の環境負荷低減性								-	-	-	-	3.3
	LR1 エネルギー								-	0.40	-	-	3.6
1	建物外皮の熱負荷抑制		W		H		BPI=0.74		5.0	0.20	-	-	5.0
2	自然エネルギー利用		W		H				3.0	0.10	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化		W		H		BEI=0.78		3.4	0.50	-	-	3.4
4	効率的運用								3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価								3.0	1.00	-	-	
	4.1 モニタリング		W		H				3.0	0.50	-	-	
	4.2 運用管理体制		W		H				3.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価								-	-	-	-	
	4.1 モニタリング		W		H				-	-	-	-	
	4.2 運用管理体制		W		H				-	-	-	-	
	LR2 資源・マテリアル								-	0.30	-	-	3.1
1	水資源保護		W		R				3.4	0.20	-	-	3.4
	1.1 節水								4.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用								3.0	0.60	-	-	
	1 雨水利用システム導入の有無								3.0	0.70	-	-	
	2 雑排水等利用システム導入の有無								3.0	0.30	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減								3.0	0.60	-	-	3.0
	2.1 材料使用量の削減		W		R				2.0	0.10	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用		W		R				3.0	0.20	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		W		R				3.0	0.20	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		W		R				3.0	0.20	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材		W		R				2.0	0.10	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		W		R		LGS+GB-Rにより躯体と仕上げ材料が容易に分別可能		4.0	0.20	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避								3.3	0.20	-	-	3.3
	3.1 有害物質を含まない材料の使用								4.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避								3.0	0.70	-	-	
	1 消火剤		W				GA100(接着剤)		-	-	-	-	
	2 発泡剤(断熱材等)		W						3.0	0.50	-	-	
	3 冷媒		W						3.0	0.50	-	-	
	LR3 敷地外環境								-	0.30	-	-	3.0
1	地球温暖化への配慮		W					LCCO2 82%	3.7	0.33	-	-	3.7
2	地域環境への配慮								2.3	0.33	-	-	2.3
	2.1 大気汚染防止								3.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善	G	W		H				2.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制								2.5	0.25	-	-	
	1 雨水排水負荷低減								3.0	0.25	-	-	
	2 汚水処理負荷抑制					R			3.0	0.25	-	-	
	3 交通負荷抑制					R			2.0	0.25	-	-	
	4 廃棄物処理負荷抑制					R			2.0	0.25	-	-	
3	周辺環境への配慮								3.1	0.33	-	-	3.1
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止								3.0	0.40	-	-	
	1 騒音								3.0	1.00	-	-	
	2 振動								-	-	-	-	
	3 悪臭								-	-	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制								3.0	0.40	-	-	
	1 風害の抑制								3.0	0.70	-	-	
	2 砂塵の抑制								-	-	-	-	
	3 日照障害の抑制								3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制								3.7	0.20	-	-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうちに漏れる光への対策								4.0	0.70	-	-	
	2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策								3.0	0.30	-	-	

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3.1 維持管理に配慮した設計	3.0		-	-	-	-	○	-	-	○	-	○	-	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.1 空調・換気設備	-		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.2 給排水・衛生設備	2.0	1.0	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
2.4.3 電気設備	1.0	1.0	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.5 通信・情報設備	1.0		-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	4.0		-	-	1.0	-	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-
2 まちなみ・景観への配慮	3.0		2.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	2.0		-	-	-	-	-	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	3.0		-	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.1 材料使用量の削減	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	1.0		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 有害物質を含まない材料の使用	1.0		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	3.0		1.0	-	-	-	1.0	-	-	1.0	-	-	-	-	-
2.3.3 交通負荷抑制	1.0		-	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	2.0		-	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.2.2 砂塵の抑制	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	3.0		1.0	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

主な指標	
Q1 室内環境	
2.1.3 外皮性能	窓システムSC - 窓の日射熱取得率(η) - U値(W/m2K) 窓システム - 屋根 - 外壁 - 床 - 住戸部分システムU値 - 外皮UA値 - ηAC - ηAH -
3.1.1 昼光率	昼光率 0.0%
4.2.2 自然換気性能	自然換気有効開口率 8.0%
Q2 サービス性能	
1.1.1 広さ・収納性	執務スペース .0㎡ /人 病床 .0㎡ /床 シングル .0㎡ ツイン .0㎡
1.1.2 高度情報通信設備対応	コンセント容量 0.0 VA/㎡
1.2.1 広さ感・景観	天井高 0 m
1.2.2 リフレッシュスペース	リフレッシュスペース 0.0% レストスペース 0.0%
2.2.1 躯体材料の耐用年数	想定耐用年数 0 年
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	想定必要間隔 0 年
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	想定必要間隔 0 年
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔	想定必要間隔 0 年
3.1.1 階高のゆとり	階高 0 m
3.1.2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率 0.0%
3.2 荷重のゆとり	床荷重 - N/m2
Q3 室外環境(敷地内)	
1 生物資源の保全と創出	外構緑化指数 45% 建物緑化指数 0%
3.2 敷地内温熱環境の向上	空地率 55% 水平投影面積率 10% 地表面対策面積率 19% 舗装面積率 38%
LR1 エネルギー	
1 建物外皮の熱負荷抑制	BPI/BPI _m 0.74 昇熱等性能等級 対象外 相当
2 自然エネルギー利用	自然エネルギー直接利 0 MJ/年㎡ 採光を満たす教室数 0.0% 採光を満たす住戸数 0.0% 通風を満たす教室数 0.0% 通風を満たす住戸数 0.0%
3 設備システムの高効率化	BPI/BPI _m 非住宅 0.78 住宅 - 太陽光 .0kW 太陽熱等 .0kW 蓄電池 .0kW
LR2 資源・マテリアル	
1.2.1 雨水利用システム導入の有無	雨水利用率 0.0%
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	特定調達品E東リ NSシー エコマーク商品 - 自治体指定の特定品目等 -
2.5 持続可能な森林から産出された木材	使用比率 0.0%
3.2.1 消火剤	オゾン層破壊係数(C) 地球温暖化係数(GWP)
3.2.2 発泡剤(断熱材等)	オゾン層破壊係数(C) 地球温暖化係数(GWP)
3.2.3 冷媒	オゾン層破壊係数(C) 地球温暖化係数(GWP)
LR3 敷地外環境	
2.2 温熱環境悪化の改善	見付面積比 120% 棟間隔指標R _w - 地表面対策面積率 25.4% 屋根面対策面積率 0.0% 外壁面対策面積率 0.0% 見付面積S _b 581㎡ 越風向と直交する最大敷地幅W _s 43.51 m 基準高さH _b 11.13 m 緑地 245㎡ 水面 ㎡ 保水性対策面 ㎡ 高反射対策面 ㎡ 再帰性反射対策面 ㎡